

神戸から西宮、北摂、乙訓地域を通して東寺口へ

西国と京都をつないだ

見所
ガイド

西国 街道

灘五郷から
当時の宿場町、西宮へ



JR三ノ宮駅前の案内看板

阪急三宮駅から西国街道散策を開始。往時の面影を感じさせる社寺や目印となる道標を一つひとつ確かめながら、神戸市内を歩きます。街道は、ここから芦屋市を抜けて西宮市内へ。灘から西宮にかけては「灘五郷」と呼ばれる全国屈指の酒どころとして知られています。道中、伝統の味に触れてみるのも楽しいでしょう。

西宮市の中心部にある西宮神社は、全国のえびす神社の総本社。「えべっさん」の名で親しまれています。



西宮神社

郡山宿で
往時のにぎわいを思う

茨木市内に入って、まず目につく郡山宿本陣は、西国街道全体の象徴ともいえる存在。その立派な門構えを見ていると、街道のなかでも特ににぎわいを見せたといわれる郡山宿の往時の様子が目に浮かぶようです。「椿の本陣」とも呼ばれ、その由来となった椿は、現在も季節になると咲き誇ります。



郡山宿

参勤交代で栄えた
芥川宿を歩く

高槻市に入ると芥川一里塚から芥川橋までの間、約400mの道沿いに芥川宿の面影を見ることができます。ここは、高槻城に近く、大坂・兵庫・丹波への分岐点でもあったため、17世紀のはじめ徳川幕府により山崎通の宿駅として整備されました。参勤交代のために本陣が設けられ、旅籠屋も建ち並び、伝馬(公用の荷馬)も置かれ、大名行列や旅人らが行き交う摂津の要地でした。幕末には、政変に敗れて長州に逃れる途中の三条実美ら七卿もこの芥川宿に泊まったといわれています。



芥川宿

秀吉と光秀の合戦地、
山崎に行く

豊臣秀吉と明智光秀による「山崎の戦い」の地としても知られる大山崎。天正10年(1582)に起こったこの戦いの舞台となったのは、山崎の背後にそびえる天王山の山麓でした。勝龍寺城に本陣をかまえた光秀側につく武将は少なく、戦いは秀吉の圧勝に終わりました。秀吉が天下統一への道を歩み始めた天下分け目の地・天王山は、全てを包み込むように静かにたたずんでいます。



天王山

桂川を渡って、
京都市内へ向かう



長岡宮跡

「幻の都」といわれた長岡京跡が広がる大山崎町、長岡京市、向日市を抜け、桂川を渡って京都市内へ。街道は、東寺へと向かいます。平安京を護るために建てられた官寺である西寺と東寺。その間には、羅城門がおかれていました。羅城門から京のメインストリート・朱雀大路が平安宮までのびていました。平安京の表玄関としてそびえ立っていた羅城門は、天元3年(980)の台風で倒壊し、現在は羅城門町の公園に石碑が建っています。東寺は、都における真言宗の本拠として栄え、今も多くの人が訪れます。西寺は早くに衰え、現在は西寺跡の碑が建つ唐橋西寺公園内に講堂跡が土壇として残るのみです。



西寺跡

目次

P.2

西国街道見所ガイド

P.4

神戸市中央区～神戸市東灘区

・歩行距離/9.7km ・標準歩行時間/2時間25分

P.6

神戸市東灘区～西宮市上大字

・歩行距離/12.4km ・標準歩行時間/3時間06分

P.8

西宮市上大字～箕面市瀬川

・歩行距離/12.1km ・標準歩行時間/3時間01分

P.10

箕面市瀬川～茨木市豊川

・歩行距離/10.8km ・標準歩行時間/2時間42分

P.12

茨木市豊川～高槻市山手町

・歩行距離/10.0km ・標準歩行時間/2時間30分

P.14

高槻市山手町～長岡京市神足

・歩行距離/9.5km ・標準歩行時間/2時間23分

P.16

長岡京市神足～京都市南区

・歩行距離/8.6km ・標準歩行時間/2時間09分

P.18

アクセス情報

電車で乗って、さあ散策に出掛けましょう

— 資料提供 —

大阪府 都市整備部交通道路室 道路整備課計画グループ